

(1) ア：唐 イ：律令 ウ：蝦夷 エ：難波 オ：元号 カ：戸籍 キ：山城 ク：持統 ケ：藤原京 コ：国号

解説：7世紀の日本は、強大な唐のシステムである律令を模範として国家体制を整えました。白村江の戦いでの敗戦という危機を乗り越え、天武・持統天皇の時代に藤原京の造営や「日本」という国号の制定がなされ、中央集権国家としての形が整いました。

(2) イ

アの誤り：天武天皇の時代に造られました（天智天皇ではありません）。

ウの誤り：銅貨です（銀貨ではありません）。

ポイント：富本銭は和同開珎に先駆けて鑄造されましたが、その流通実態については現在も議論が続いています。

(3) エ→イ→ウ→ア

エ：百済が滅亡（660年）

イ：白村江の戦いで大敗（663年）

ウ：天智天皇が即位（668年）

ア：壬申の乱が勃発（672年）

(4) ①：ア（皇極天皇）

乙巳の変（蘇我氏打倒）の際、玉座にいたのは中大兄皇子の母である皇極天皇です。

②：大友（皇子）

天智天皇（イ）の子。壬申の乱で叔父の大海人皇子（天武天皇）に敗れました。

③：イ（天智天皇）

白村江の戦いの後、国防のために都を飛鳥から内陸の近江大津宮（滋賀県）へ移しました。

④：ア・ウ

ア：皇極（のちの斉明）天皇

ウ：持統天皇（天武天皇の皇后）